



令和4年6月8日

報道関係者各位

国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学

日本初となる受精卵の遠隔輸送による仔馬 (木曾馬) の誕生及び公開見学会の開催について

帯広畜産大学グローバルアグロメディシン研究センター南保泰雄教授の研究室では、日本初となる受精卵の遠隔輸送による仔馬(木曾馬)の誕生に成功しました。令和4年6月14日(火)午前11時から、本学馬介在活動室において、この仔馬の公開見学会を開催しますので、お知らせいたします。

国内に存在する日本在来馬は飼養頭数が減少しており、木曾馬は長野県天然記念物に指定されています。本学では日本中央競馬会畜産振興事業の一環として、令和3年にこの木曾馬の受精卵を回収し、鉄路・空路・道路輸送を駆使して、長野県木曾町から北海道に位置する帯広畜産大学まで、10時間をかけて受精卵を室温で同日内に遠隔輸送しました。同日中に、レシピエント(代理母馬)の北海道和種馬へ新鮮胚移植に成功しました。令和4年5月29日(日)、遂に1頭の仔馬を出産し、「日本初となる遠隔地での受精卵移植により生産された仔馬」が誕生しました。

この受精卵の遠隔輸送移植の研究は、生殖補助医療による日本在来馬の保存と生産増加が期待されるものであり、レシピエント馬が北海道などの生産地に飼養されるケースが多い日本独特の生産事情の中で、本州のドナーから北海道への受精卵移植の迅速な提供を目指します。これは、希少な日本在来馬の保存及び効率的な生産、馬受精卵移植法の普及と定着を目指す本学にとって非常に重要な取り組みで、受精卵の遠隔輸送移植の提供は国内の獣医学系大学においても極めて稀な取り組みとなりますので、ぜひ取材下さいますようお願いいたします。

公開見学会への参加を希望される場合につきましては、下記連絡先までお知らせくださいますようお願いいたします。



日本中央競馬会
特別振興資金助成事業



【連絡先】

国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学
グローバルアグロメディシン研究センター
(兼)獣医学研究部門 (兼)動物医療センター 教授 南保 泰雄
電話: 0155-49-5394
E-mail: ynambo@obihiro.ac.jp